

遺言書

遺言者 リユウケン は、この遺言書で次のとおり遺言する。

- 一、 天空につらなる七つの星のもと壱千八百年の
長きにわたり営えいと受け継がれてきた一子相伝の秘拳
北斗神拳を四人の養子長兄ラオウ、次男トキ、三男ジャギ
及び末弟ケンシロウのうちより末弟ケンシロウを伝承者とする

付言事項

北斗神拳が一子相伝である理由はこの拳法が無敵の暗殺拳だからじゃあやまって使ってはならぬ。あやまった人間が伝承すればこの世は滅びるじゃろう。
尚、南斗聖拳とは表裏一体。争ってはならぬ。お互い力を合わせそれぞれの拳法を伝承するのじゃ

西暦壱九九×年×月×日

道場にて

リユウケン

印

※ 引用に用いた文献

北斗の拳 武論尊 集英社文庫